

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-82481

(43)公開日 平成5年(1993)11月9日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 6 3 F 7/02

9/00

H 0 5 F 3/02

識別記号

3 5 5 Z

5 1 2 B

U 7028-5G

庁内整理番号

9113-2C

8603-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平3-31746

(22)出願日 平成3年(1991)2月26日

(71)出願人 390005120

株式会社森木工

愛知県名古屋市西区二方町12番地

(72)考案者 森 才一郎

名古屋市西区二方町12番地 株式会社森木工内

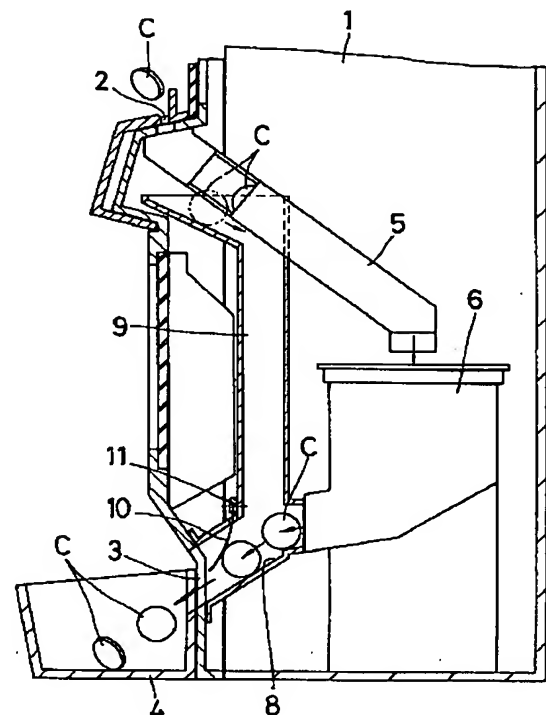
(74)代理人 弁理士 園部 祐夫

(54)【考案の名称】 ゲーム機の静電除去装置

(57)【要約】

【目的】ゲーム機の受皿に排出し遊技者に提供される遊技用コインは摩擦により静電を帯電して遊技者の手許に歸され、遊技者は帯電を知らないで掴んで放電ショックを受けることがあるのを、自動的に除去することを目的とするものである。

【構成】本考案の静電除去装置は、機函1の内部に投入口2から投入するゲーム用コインCに静電を帯電して放出され、その帯電を気付かないで遊技者が掴んで放電によるショックを受けることがあるのを、ゲーム機の放出通路8に設けて転がり又は滑るコインCが接触して放電する作用の静電除去ブラシ10を設けることにより除去する。



(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 スロットルマシン、パチンコ機等のゲーム機の遊技用コインの排出口の内部の遊技用コインが排出される位置に、該コインを摺擦する静電除去ブラシを設置したことを特徴とするゲーム機の静電除去装置。

【図面の簡単な説明】

添付図面は本考案の1実施例を示し、

【図1】 ゲーム球機函の正面の斜視図

【図2】 遊技用コインの排出通路及び排出受け皿を示し

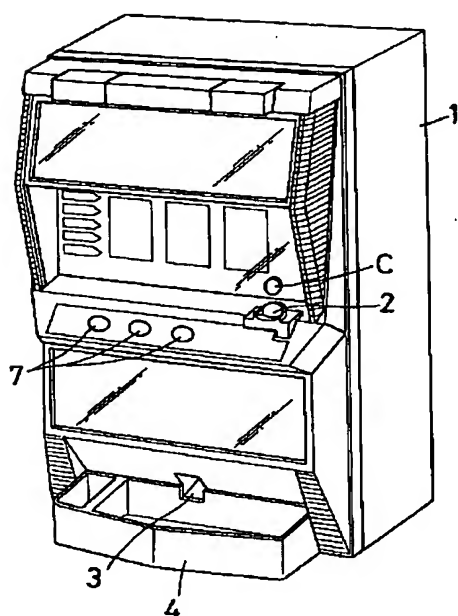
た縦断側面図

【図3】 静電除去ブラシの斜視図

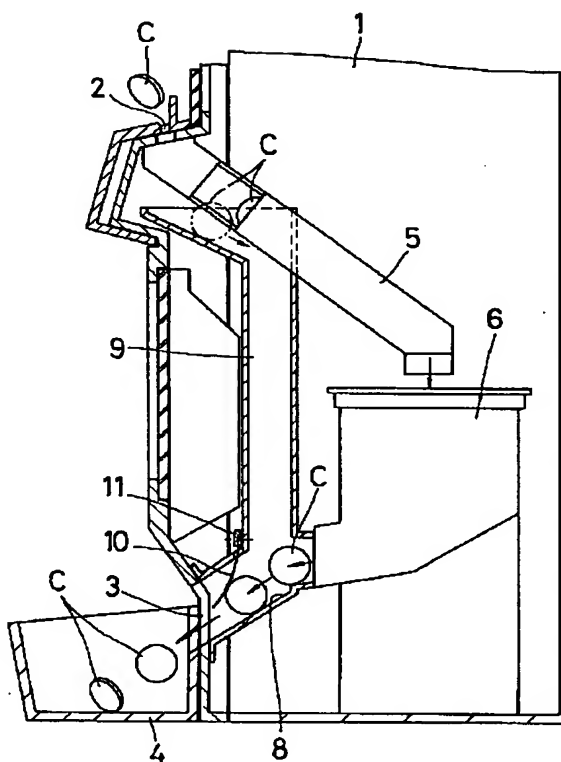
【符号の説明】

C コイン、 1 ゲーム機機枠、 2 投入口、 3 排出口、 4 受け皿、 5 案内樋、 6 コインタンク、 7 押し釘、 8 放出通路、 9 戻し管、 10 静電除去ブラシ、 11 金属ハンドル、 12 金属線、

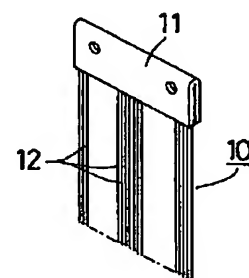
【図1】



【図2】



【図3】



(3)

## 【考案の詳細な説明】

## 【0001】

## 【産業上の利用分野】

本考案は、ゲーム機の静電除去装置に関し、ゲーム機の遊技に経営者が提供する遊技用コインに静電気が帯電して受け皿に排出され、遊技者がそれを知らないで掴んで感電することがある。それにより怪我をすることは殆どないが不快なショックを感じることは否めない。本考案は自動的に静電帯電を殆ど除去してかかる静電の帯電とか、蓄積とか、放電によるショックがないようにする装置を設けたゲーム機を提供するものである。

## 【0002】

## 【従来の技術】

ゲーム機の受け皿に排出して遊技客に提供する遊技用コインはコインホッパーの排出キック機構が合成樹脂で構成されている他、多くの摩擦により金属製の遊技用コインに静電を帯電し、そのコインは排出口の底面等に殆ど接触しないで高速度で受け皿に落下状に排出されることが多いので前項に述べたように感電することが比較的多い。この欠点が遊技客に不快感を与える。

## 【0003】

## 【考案が解決しようとする課題】

本考案のゲーム機の静電除去装置はこの欠点に対応する必要から提案するもので、遊技業者に手間を掛けずに実現することを課題とし、考案の目的とするものである。

## 【0004】

## 【課題を解決するための手段】

本考案は前記した目的に合致させたもので、スロットルマシン、パチンコ機等のゲーム機の遊技用コインの排出口の内部の遊技用コインが排出される位置に、該コインを摺擦する静電除去ブラシを設置したことを特徴とするもので、極く簡易な構造にできる。

## 【0005】

## 【実施例】

(4)

添付図面は本考案の1実施例を示し、図1はゲーム機機函の正面の斜視図、図2は遊技用コインの排出通路及び排出受け皿を示した縦断側面図、図3は静電除去ブラシの斜視図である。

#### 【0006】

1はゲーム機機函であって図1に示すように正面外部に遊技用コインCの投入口2を設け、下方部に前記コインCの排出口3と、該排出口3から排出されるコインの受け皿4を設置する。

#### 【0007】

機函1の内部に前記投入口2から投入するコインCを案内樋5によりコイントランク6に導き該タンク6内に積層させて貯溜する公知構造になり、例えば所定数のコインを投入口2に投入して押し釦7の類により遊技成績をゲーム機相手に競い、入賞するとコイントランク6から放出通路8に通して受け皿4に放出する一般構造になり、投入口2から投入するコインCが定数になって案内樋5の側面の溢れ口(図示しない)から溢れたコインCは戻し管9から放出通路8を経て受け皿4に戻される。その他例えば入賞により放出するコインCがコイントランク6内でなくなったときの補充手段、入賞と関連させて行うコインCの放出手段等は公知であり、本考案と関連するものでないから図示及び説明を省略する。

#### 【0008】

コイントランク6、放出通路8、受け皿4等は合成樹脂絶縁材からなり、放出通路8に該通路を転がりまたは滑るコインCを接触して通す静電除去ブラシ10を吊り下げ状に設ける。この静電除去ブラシ10は金属ハンドル11に細い無数の金属線12を植えたもので金属ハンドル11を適宜にアースしてなる。

#### 【0009】

#### 【考案の効果】

本考案のゲーム機の静電除去装置は、スロットルマシン、パチンコ機等のゲーム機の遊技用コイン排出口3の内部の該コインCが排出される位置に、該コインCを摺擦する静電除去ブラシ10を設置した構成になり、放出通路8を通過して受け皿4に排出される総てのコインCは、静電除去ブラシ10により静電を除去して、静電帯電による害悪を殆ど除いたコインにすることができるもので、遊技者

(5)

が意を配る必要は全くなく、自動的に静電除去を施し得る効果がある。